

■河原操子 教育者。スパイ。蒙古女学校顧問となり、日露開戦直前の諜報任務を遂行した“蒙古平原の女忍者”。

かわはらみさこ

初の民間工場1875＝ 信濃国松本で、代々藩儒だった家柄で漢字を教えていた河原忠・しなの一人娘に生まれる。

明治14年政変1881＝ 6歳：父が板場支校に招かれて教鞭をとり、  
母も裁縫を教えていたため、近くのおばあさんに背負われるなどして育つうち、

秩父事件・・・1884＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝14歳：母が死去、以後、父に育てられる。後にシベリアを単騎横断して有名になる福島安正と幼友達だった父から、日本と中国との親善の必要性を説かれ、口癖のように‘日中が互いに手を握り合わなければ、東洋の平和は得られない’と聞かされながら、開智学校で学び、

足尾鉍毒始・1891＝16歳：長野県尋常師範学校女子部に入学。

郡司千島探検1893＝18歳：

日清戦争始・1894＝19歳：

白馬会・・・1896＝21歳：卒業して、東京女子高等師範学校に入学するが、  
病気のため途中で退学し、

Bushidou・・・1899＝24歳：長野県立高等女学校の教諭となる。

ビアノ国産化・1900＝25歳：**\*女子教育界の一大権威下田歌子の来県を新聞で知ると、父の許しを得て歌子に会い、清国の子女教育に従事したいと希望を述べると、初対面ながら、目的達成のため力になることを約束してくれ、その世話で、横浜在留中国人の大同学校の初の日本人女教師となった後、さらに斡旋を受けて、**

教科書疑獄・1902＝27歳：**女子教育を目的に設立された清国の務本女学堂教師に赴任すべく、上海に渡航し、纏足された足の発育を促そうと率先して運動、衛生な城内にあった女学堂に外から通わず生徒らとともに住む。**

日比谷公園・1903＝28歳：**\*来日して自国に戻った内蒙古のカラチン王が日本風の女子教育を施すため、蒙古カラチン女学校を創設、日本人の女性教師派遣を依頼してきたことから、白羽の矢が立てたれ、同時に、日蒙関係をつなぐ軍事秘密情報員の使命を帯び、川島浪速らが生還を保障できなかったほど、命を懸けた異国カラチンに単身赴き、国王夫妻の庇護のもとに両任務をこなし、**

日露戦争終・1905＝30歳：**女学堂の基礎が固まり、日露の平和も回復、日本軍の特別任務も終了、一旦帰国して、日本で勉強し直し再び入蒙しようと決意し、後任に決まった考古学者鳥居龍藏夫人きみ子と交代して、**

満鉄発足・・・1906＝31歳：**帰国。銀行の副支店長一宮鈴太郎と結婚し、以後、夫の赴任地ニューヨークで暮す。**

韓国反日暴動1907＝32歳：**著書にカラチンのことをつづった「蒙古土産」がある。**

大逆事件判決1911＝36歳：

明治天皇没・1912＝37歳：

大暴落・・・1920＝45歳：

原敬首相暗殺1921＝46歳：**\_15年ぶりに、ニューヨークから帰国して熱海に住み、**

世界恐慌・・・1929＝54歳：

満州事変・・・1931＝56歳：

日中戦争始・1937＝62歳：

健保+総動員 1938＝63歳：

日米開戦・・・1941＝66歳：

敗戦・・・1945＝70歳：**\_没した。**